

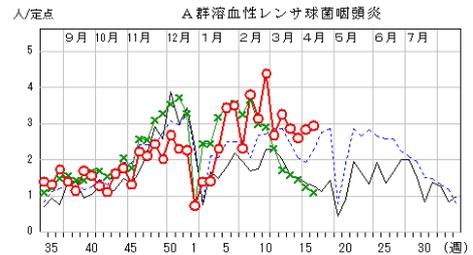
長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2020年第16週 2020年4月13日（月）～2020年4月19日（日） 2020年4月23日作成

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

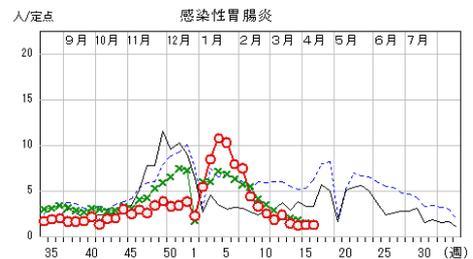
（1）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第16週の報告数は130人で、前週より5人多く、定点当たりの報告数は2.95であった。
年齢別では、3歳（18人）、1歳（17人）、4歳（15人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（8.67）、県南保健所（6.40）、対馬保健所（3.50）であった。



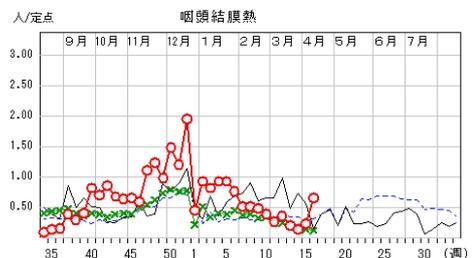
（2）感染性胃腸炎

第16週の報告数は57人で、前週より1人少なく、定点当たりの報告数は1.30であった。
年齢別では、10～14歳（12人）、1歳（8人）、1歳未満（7人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（2.67）、佐世保市保健所（2.50）、上五島保健所（2.50）であった。



（3）咽頭結膜熱

第16週の報告数は29人で、前週より19人多く、定点当たりの報告数は0.66であった。
年齢別では、1歳（10人）、3歳（7人）、2歳（5人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所（1.50）、長崎市保健所（1.30）、県央保健所（1.00）であった。



○ 当年(長崎県) 前年(長崎県)
× 当年(全国) 前年(全国)

☆上位3疾患の概要

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第16週の報告数は、前週より5人増加して130人となり、定点当たりの報告数は2.95でした。地区別にみると、県央地区（8.67）は、前週より減少したものの、警報レベル開始基準値「8.0」を上回っています。県南地区（6.40）、対馬地区（3.50）もほかの地区より多い状況です。多くの地区で減少傾向にありますが、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第16週の報告数は、前週より1人減少して57人となり、定点当たりの報告数は1.30でした。地区別にみると、壱岐地区、対馬地区以外から報告があがっていますが、県全体で減少傾向にあります。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

【咽頭結膜熱】

第16週の報告数は、前週より19人増加して29人となり、定点当たりの報告数は0.66でした。地区別にみると、対馬地区（1.50）、長崎地区（1.30）、県央地区（1.00）は他の地区より多い状況です。

本疾患は発熱、咽頭炎、結膜炎にともなう結膜充血、眼痛、眼脂等の眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症であり、数種の型のアデノウイルスが原因となります。通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で、結膜あるいは上気道から感染します。予防のためには感染者との密接な接触を避け、うがいや手指の消毒を励行しましょう。

★トピックス：県内でこれまでに17例の新型コロナウイルスの感染者が確認されています

2020年4月22日までに、長崎県では17例の新型コロナウイルスの感染者が確認されています。また、長崎市に停泊中の外国船籍の船内で34名の感染者が確認されました（4月22日現在）。

2020年4月7日に出された「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」について、4月16日に対象地域が全都道府県に拡大されました。不要不急の外出は控え、換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面など感染しやすい環境（3密）に行くことは避けましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染予防には、外出後の手洗い、定期的な換気、「咳エチケット」の徹底が有効です。自己への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底しましょう。

～ 咳エチケット ～

- ・人に向けて咳やくしゃみをしない
- ・マスクの着用（咳をしている人には着用を促す）
- ・マスクのない場合は、口と鼻をティッシュなどで押さえる
- ・使用したティッシュは、すぐにゴミ箱へ捨てる
- ・咳やくしゃみを受け止めた手は、すぐに洗う

(参考) 長崎県 新型コロナウイルス感染症について

https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/

(参考) 内閣官房 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言

<https://corona.go.jp/>

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルスを防ぐには

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599643.pdf>

(参考) 厚生労働省 3つの密を避けましょう

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614802.pdf>

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について（外部のページに移動します。）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

長崎県における新型コロナウイルス感染症発生状況

	管轄保健所	年齢・性別	類型	診断週
1	壱岐保健所	30歳代・男性	無症状病原体保有者	第11週
2	西彼保健所	20歳代・男性	患者	第13週
3	佐世保市保健所	70歳代・男性	患者	第14週
4	県央保健所	60歳代・女性	患者	第14週
5	壱岐保健所	30歳代・女性	患者	第14週
6	県央保健所	50歳代・男性	患者	第14週
7	佐世保市保健所	20歳代・男性	患者	第14週
8	佐世保市保健所	40歳代・男性	患者	第14週
9	壱岐保健所	70歳代・女性	患者	第14週
10	壱岐保健所	90歳代・女性	患者	第14週
11	壱岐保健所	60歳代・女性	患者	第14週
12	壱岐保健所	70歳代・女性	患者	第14週
13	県北保健所	70歳代・女性	患者	第15週
14	佐世保市保健所	60歳代・女性	患者	第15週
15	長崎市保健所	30歳代・男性	患者	第16週
16	佐世保市保健所	20歳代・男性	患者	第16週
17	佐世保市保健所	30歳代・男性	患者	第16週

